

令和5年度 袋井特別支援学校磐田見付分校 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和5年5月17日(水) 午後1時30分から3時30分まで

2 場 所 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校パソコン室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

運営協議委員A、運営協議委員B、運営協議委員C、運営協議委員D、
運営協議委員E

(2) 本校職員

校長、教頭、部主事、教務課長

4 議事

(1) 開会

ア) 学校長あいさつ

- ・インクルーシブ教育のひとつの形が磐田見付分校にはある。
- ・地域に学校のことを知ってもらうことが課題としてある。

イ) 任命状伝達

ウ) 自己紹介(学校運営協議委員、本校職員)

(2) 授業参観

(3) 協議事項

ア) 学校運営協議会制度について

- ・学校と保護者、地域の方々などの関係者が、力を合わせて学校の運営に取り組むことができる法律に基づいた仕組み。
- ・「地域とともにある学校」への転換を図る。
- ・三つの機能:「熟議」「協働」「マネジメント」目標に向かって取り組んでいく。
- ・会長等の選出

会 長 運営協議委員B

副会長 運営協議委員C

地域コーディネーター 運営協議委員A

イ) 本年度の学校経営計画及び学部の教育について

①提案

学校経営計画は教頭、学部の教育については部主事が説明

②御意見や御質問(・) それに対する回答(⇒)

(運営協議委員A)

- ・あいさつや良い姿勢づくりなどは定着に向けて積み上げていくことが大切。
- ・交通安全には気を付けたい。特に自転車について気になる。登下校指導では、学校付近では安全が保たれている場合が多いので、少し離れたところで行うことも必要。

(運営協議委員B)

- ・有事への対応力をつけることに関して、色々な災害を想定して訓練を実施してほしい。
- ・効率的に業務の遂行をし、万全な体制を創ることに関して、例えば、私の事業所ではコミュニケーションデイを設定し、通達や館内放送で呼びかけて定時退勤の推奨をしている。やむを得ず退勤時間が遅くなる場合は、管理職に申し出ることにしている。

(運営協議委員C)

- ・自然にあいさつができる子どもを育てたい。あいさつをしようと言われたからするのではなく、なぜ必要かが分かり自然と行えるように基本的なことを学べるようにしたい。
- ・磐田見付分校の場所は確かに分かりにくい。
- ・ある登校時の交通事故で、「大丈夫」と立ち去ろうとする高校生の姿が見られた。学校に遅れてしまうことに危機感を感じ、すぐにその場を立ち去りたかったようであった。もちろん、自転車のマナーが悪かったと叱責されそうなことや、気持ちが動揺していて痛みを感じ難かったなども理由のひとつかもしれないが、命が何よりも大切であることを教えていきたい。学校に遅れても大丈夫という指導も必要ではないか。

(運営協議委員D)

- ・防災訓練は決まった形になりやすい。工夫のひとつとして、例えば身近な避難場所がすぐに検索出来る県の防災アプリを扱うなどもよいのではないか。
- ・救急法講習会や緊急時対応訓練ではどのような内容を行っているか。
⇒AEDの使用法や三角巾の使用の仕方などを学んでいる。
- ・救助の仕方も毎年少しずつ変化している。一度やればよいということではないので、継続して実施したい。
- ・交通安全を考えると努力義務ではあるが、ヘルメットは必要であり大切。また、2列3列での登下校は危険が伴う。細い道は1列で通行したい。学校付近の道で、車道を広げるために歩道が狭まる可能性もある。

(運営協議委員E)

- ・事故発生時の対応のカードを子どもたちは受け取って所持しているが、当て逃げの被害者、加害者になった場合の対応等が気懸りである。
- ・健康と体力という点では、子どもの夜更かしについて悩んでいる。親として対応に困ることもあるが、そのような時、保健室便りを役立て、親子で一緒に健康について考える機会にしたい。

③学校経営の承認

参加者全員から承認をいただいた。

ウ) 学校及び地域等における課題について

①提案

- ・地域の方に学校を知っていただくために、生徒の良さをアピールしていきたい。そのために、作業製品の販売会の実施、ハンドベルの演奏を地域の中で行う、ボランティア活動、地域での防災活動、地域のイベントに参加、美術作品等の展示を行なえないかと考えている。

②御意見や御質問（・）それに対する回答（⇒）

(運営協議委員A)

- ・広報をしていけば、ハンドベルの演奏会は可能。
- ・来年度になるが、4月に地区のイベントがあるので、参加してはどうか。

(運営協議委員B)

- ・ハンドベルの演奏やリメイクの活動は分校の強みである。
- ・見付の丘フェスタに企業の参加を取り入れてはどうか。他校でも取り組んでいるところがある。
- ・昨年度アミューズ豊田で行われた磐田市のイベントに袋井特別支援学校が参加していた。磐田見付分校も参加を検討したらどうか。地域のイベントに参加することも磐田見付分校を知ってもらうという点では有効ではないか。

(運営協議委員C)

- ・こども園の夏祭りに参加してハンドベルの演奏や自主生産作業製品の販売をしてはどうか。
- ・地域に学校を知ってほしいとのことだが、地域をどう捉えているのか。地域が広いと効果が見えにくいので、どの地域のどんな方々に知ってもらいたいのかテーマを決めて取り組んではどうか。

(運営協議委員D)

- ・地域では、高校生の自転車マナーの向上に対する取り組みを年3回実施している。昨年度は磐田見付分校の管理職が参加していた。
- ・自転車乗車時のヘルメット着用は努力義務ではあるが、安全面から考えると着用を促したい。
- ・令和6年3月16日見付地区センターまつり開催予定。

(運営協議委員E)

- ・リメイクサークルの活動はいつ頃行っていたのか。
- ⇒令和4年度は後期頃から月2回程度行っていた。
- ・分校の伝統的な活動であれば、続けて行うとよいと思う。
 - ・「読み聞かせ活動」は子ども達の自信にもつながると思うので、とてもよいと感じた。

(4) 学校長あいさつ

地域での活動をとおして、地域の方々に褒めていただくことは生徒の自信につながると考えています。たくさんの意見をいただきありがとうございました。